

自己評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -
“ 愛媛県地域密着型サービス評価 ”

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が

各自自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取り組みたいに を付け、適宜そ

「取り組みの事実」は必ず記入すること。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム・シオンの家

(ユニット名) _____

記入者(管理者)
氏名

村越 夕エ子

評価完了日

平成 19 年 5 月 29 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年7月31日

【評価実施概要】

事業所番号	3873400224		
法人名	(有)介護支援サービスしろもと		
事業所名	グループホーム シオンの家		
所在地	上浮穴郡久万高原町久万1394-3	(電話) 0892-21-0547	
管理者	村越 タエ子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5 - 1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年7月3日	評価確定日	平成19年7月31日

【情報提供票より】 (平成19年6月20日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成14年10月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11 人	常勤	6人, 非常勤 5人, 常勤換算 9.7人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	20,000円(8室)・13,000円(1室)	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷 金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		
(3)利用者の概要 (平成19年6月20日現在)			
利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護1	0 名	要介護2	2 名
要介護3	5 名	要介護4	1 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 84.2 歳	最低 69 歳	最高 95 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 (あり)・なし	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 あり・(なし)	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

職員の異動や離職はほとんどなく、利用者職員は、馴染みの関係となっている。職員は、利用者から地元の料理の作り方や漬物の漬け方等を教えておられる。利用者の気持ちをより理解するために、職員個々が一日利用者になって事業所で過ごしてみるような試みをされた。職員で気づかれた事等がケアに反映されている。他施設におられる友人の訪問やひ孫さんの顔を見に行く等、個別で柔軟な支援に努めておられる。玄関だけでなく居間や廊下等からもいつでも庭に出ることができるようになっている。利用者は、自由に出入りをされていた。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・前回の外部評価の結果を受けて、口腔ケアについてのチェック表を作り、食後、歯磨きを行いチェックすることで習慣となっていた。歯科医師に利用者の「口腔内がきれいになったね」と言葉をもらった。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・今回の自己評価は、評価項目に沿って職員全員で話し合い取組まれた。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・会議時、事業所の取り組みやケアの事例報告をされ、出席者から質問等をいただき、活発な意見交換が行われている。出席者から「事業所が気軽に立ち寄れる、開かれた場所であることが分かって良かった」という声もあった。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・ご家族に送付する毎月の利用料請求とともに、ご本人の思いや状況を伝えるお手紙を同封されている。ご家族の来訪時、写真やビデオ見ていただく等、利用者の日々の様子を具体的に伝えておられる。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・自治会、敬老会、地域の活動に積極的に参加し地域の方達と交流を図っておられる。利用者やご家族、職員を通じ地域とつながりを深めておられる。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1.理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<p>(自己評価)</p> <p>これまでの理念に加え、住み慣れた地域での安心した生活と本人の望む自由な暮らしを支えるための新しい理念を職員全員でつくりあげている。</p> <p>利用者が住み慣れた地域でその人らしい暮らしを続けることを支援するための理念を新しく作成し、実践に向けて取り組んでおられる。</p>		実践に向けて職員全員で取り組んでいる。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>代表者と管理者が様々な場面で、理念の大切さと実践に向けた取り組みについて職員と話をしている。新人研修際には特に理念を理解してもらえるよう話し、日々のケアに生かせるよう取り組んでいるが、全ての職員ができていないとは言えない。</p> <p>(外部評価)</p> <p>代表者、管理者と職員は、日々の実践の中や、カンファレンス等で理念を共有し、熱意を持って取り組まれている。</p>		全ての職員が理念の実現に熱意を持って取り組めるよう意識改革と指導に取り組んでいる
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>地域の方やご家族には入居時、訪問時、運営推進会議等おりに触れお話しして取り組んではいるが、まだまだ浸透しているとは言えない。</p>		地域密着型サービス事業所として利用者を支えていくために、もっともと言葉や実践、パンフレット等を用いて伝える工夫をしていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4		<p>隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>(自己評価) 管理者の自宅がホ - ムの隣で近隣の方々と親しく、回覧板を回したり、農作物をいただいたり、又日常的に買い物や散歩に出かけているので関係は深まっている。</p>		
5	3	<p>地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>(自己評価) 自治会に加入しており、会合やクリ - ンデイ等利用者と一緒に参加している。近所の保育園や地域の行事等にも積極的に参加して地元の方達との交流に努めている。 自治会、敬老会、地域の活動に積極的に参加し地域の方達と交流を図っておられる。利用者やご家族、職員を通じ地域とつながりを深めておられる。</p>		
6		<p>事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 人材育成への貢献として職場体験や実習生を受け入れている。ホ - ムでの焼き肉大会等に地域の高齢者をお誘いしているが、交流やホ - ム側からの支援にまでは至っていない。</p>		<p>認知症に対する啓発事業として、ご家族や地域の方々を対象に講習会を予定している。</p>
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>					
7	4	<p>評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 自己評価を職員全員で行い、サ - ビスの質の向上に努めている。外部評価の結果はカンファレンス時に報告し、別途個々に細かく読み取り実践につなげるよう指導しているが、改善計画シートは作成しておらず口頭での改善指導にとどまっている。 (外部評価) 今回の自己評価は、評価項目に沿って職員全員で話し合い取り組まれた。前回の外部評価の結果を受けて、口腔ケアについてのチェック表を作り、食後、歯磨きを行いチェックすることで習慣となっていた。歯科医師に利用者の「口腔内がきれいになったね」と言葉もらった。</p>		<p>評価の意義と目的をもっともっとわかりやすく職員に伝え、改善計画シート の作製による具体的な実践につなげるよう取り組みたい。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議にはご家族、行政職員はじめ地域の様々な立場の方の参加があり、ホ－ムの取り組みを知っていただくと共に、参加者からも質問、意見、要望等、双方向的な会議となっている。		
			(外部評価)		
			会議時、事業所の取り組みやケアの事例報告をされ、出席者から質問等をいただき、活発な意見交換が行われている。出席者から「事業所が気軽に立ち寄れる、開かれた場所であることが分かって良かった」という声もあった。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			町が毎月1回開催する地域ケア会議に必ず出席し情報の共有を図っている。また、町の担当者が変わった時にはホ－ムの見学に来てもらい関係作りを積極的に行い、連携、協力が得られている。		
			(外部評価)		
			町の担当者とも顔馴染みとなり、事業所の行事にも参加していただく等、取り組みも知っていただいている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			研修出席者が学んだことやパンフレット等を持ち帰り、全職員に周知している。		
					学んだり聞いたりしていても、実際に利用者が無く関わっていないと、その時だけの学びになってしまっているので、しっかり理解を深めるよう継続した勉強会等を行うよう取り組む。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			代表者、管理者が虐待防止に関してはっきりとした考え方、方針を持っており、職員への教育・指導もしっかりなされている。		
					ストレスが虐待を生むとも言われており、身体的・精神的、全ての虐待を生じさせないよう継続的にあらゆる取り組みをしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居時には、当ホ - ムのケアに関する考え方や取り組み等をはじめ、グル - プホ - ム協会から出ている利用者の権利、倫理綱領等を契約書と一緒にお渡しして不安のないよう十分に説明し、理解、納得をいただいている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 介護相談員が月2回来訪しており、利用者が外部の人に思いを話せる機会となっている。出された希望や要望は運営や日々のケアに生かしている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 毎月利用料請求時に近況報告の手紙を同封している。来訪時に写真やビデオ、ケ - ス記録等見ていただき、ご本人の暮らしぶりや日常の様子などお伝えしている。又金銭管理は個別の金銭出納帳で管理しており、毎月ご家族に報告、確認していただいている。 (外部評価) ご家族に送付する毎月の利用料請求とともに、ご本人の思いや状況を伝えるお手紙を同封されている。ご家族の来訪時、写真やビデオ見ていただく等、利用者の日々の様子を具体的に伝えておられる。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会や利用料の支払いに来られた時等、できるだけ管理者が時間をとり気軽に何でも言ってもらえるよう留意しているが、不満や苦情は言い難いこともありあまり聞き取りができていない。要望等はすぐに対応させてもらっている。 (外部評価) ご家族との関係作りに努め、意見や希望を出していただけるよう働きかけておられる。さらに、事業所では、ご家族に気兼ねなく細かい点についての意見を出しいただきたいと考えておられる。		個々の御家族の不満や苦情はどうしても把握しにくいところがあるので、家族会で代表者を作ってもらいみんなの声として上げてもらえるよう取り組んでいく。 今後、ご家族の代表者を決め、ご家族だけで話し合うような機会を作ることを考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 代表者、管理者は常に職員の要望や意見を聞くように心がけている。管理者も話しやすい人柄なので、ある程度の把握はできているが、不満や苦情は言いにくい部分もあり把握しきれていない部分もあると思う		日頃からもっともっとコミュニケーションを図るよう心がけ職員の意見・要望・提案がホーム運営に反映されるよう取り組んでいく。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の状況の変化や自由な生活に合わせられるよう、柔軟なロ-テ-ションを組むようにしている。夜間、必要時には代表者が夜勤補助に入り2名体制を取っている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) ほとんどの職員が馴染みの関係になっており、異動や離職がやむを得ない場合もダメージを少なくするよう努力をしている。新人職員は利用者やご家族に紹介し、理解をしてもらっている。 (外部評価) 職員の異動や離職はほとんどなく、利用者と職員は、馴染みの関係となっている。		
5.人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 新人研修をはじめ、全ての職員が段階に応じた研修を受講する機会を作り、積極的に参加してもらっている。受講後は報告書を提出してもらい回覧し共有している。 (外部評価) 管理者は、職員の段階に応じた研修を受講することができるよう声をかけておられる。最近は、感染症対策の研修を受講され、日常の手洗いやタオルの交換等について見直しをされた。		今後、日々のケアについて職員自身が気付くことができるような内部研修も検討されていた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)			
			他市町村のグループホームとの交流(見学や意見、情報交換等)は行っているが、町内の他のホームの方とは会議等で同席した時話す程度でホーム同士の交流には至っていない。			グループホーム同士で交流をし、自ホームだけでは気づかないケアや環境などの新たな気づきの場として相互訪問等検討していきたい
			(外部評価)			
			町内の他事業所とは、会議で顔を合わせることはあるがかわるような機会は少なめである。町外の事業所との交流は活発になされている。		さらに、地域の認知症ケアの向上のためにも他事業所との交流に向けて、貴グループホームがリーダーとなってすすめていかれることが期待される。	
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)			
			代表者、管理者は食事会等気軽に話せる機会を設けたり、日常的に職員のストレスや悩みの把握に努めているが、全ての職員のメンタルヘルスケアが十分とは言えない。			親睦の機会をより多く持ち、話すことによる精神的ストレスの軽減と、勤務時間中にも気分転換を図れるよう短時間でも交代で休憩する等身体的ストレスの軽減を図るよう取り組む。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるよう努めている	(自己評価)			
			ヘルパ-講習を地元で受けられるよう講習会を招致したり、資格取得に向けた支援をしている。代表者も口-テ-ションの中に入っており職員個々の状況を把握し、向上心を持って働けるよう日常の声かけや評価を行っている。			
<p>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>						
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)			
			できるだけ生活状況の把握に努め、利用者によっては通所 入居の段階を踏み、信頼関係を作ることによってご本人、ご家族が安心できるよう努力している。			

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) これまでの家族関係やご本人の状況など、じっくり話を聴き、当ホ-ムではどのような対応ができるのか、双方の理解と納得がいくまで話し合いをするよう努めている。柔軟な対応を行うが、場合によっては他のサ-ビスにつなげることもある。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談者に対しては可能な限り柔軟な対応を行っている。場合によってはケアマネ-ジャ-等と連携のうえ他のサ-ビスにつなげることもある。		当ホ-ムは原則として利用申し込み順に入居してもらっており、共同生活が困難等特別のことがない限り利用者の状態に対して柔軟な対応を取らせてもらっている。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 可能な方は、職員や他の利用者、場所、環境に徐々に馴染むようデイサ-ビスの利用から始め、住み替えによるダメ-ジを軽減させるよう支援している。 (外部評価) 事業所内の通所介護の利用から、入居された方もおられる。法人内の訪問介護事業所とも協力し合いながら利用者と職員が馴染みの関係を作り、サービスを利用できるよう努めておられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 一緒に時を過ごす家族のような関係作りに努めている。共に喜び、共に哀しみ、支え合っていく生活を作り上げていく努力をしている。 (外部評価) 職員は、利用者から地元の料理の作り方や漬物の漬け方等を教わっておられる。職員が、利用者に肩をもらい労ってもらうこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 様々な家族の在り方があるが、それぞれに置かれた家族の思いに寄り添いながら喜怒哀楽を共にし、本人を支える関係を築くよう努めている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) いろいろな家族の形態や歴史があり、本人と家族の潤滑油になるよう努めているが、困難事例もあり苦慮することもある。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 知人を訪ねたり、来てもらったり個々人の能力に合わせて馴染みの人や場所との関係がとぎれないように支援している。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 仲のよい利用者同士で座ってもらったり、孤立しがちな方は職員がうまく交わる場面を設定したりしながら利用者同士の関係の「支援をしている。		トラブルの場合、原因を把握し共同生活に支障を来さないよう双方にイヤな思いを残さないような対応方法の学びをしていく。特に新人職員の研修に力を入れていく。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) ホ・ムでの対応が困難になり、長期入院となってしまう利用者・家族との関係を断ち切らないようお見舞いに行ったり相談を受けたり、又家族がホ・ムに来てくださったりと関係が継続している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の関わりの中で、職員一人一人が把握に努めている。可能な限り本人の意向を第一にしているが、意思疎通の困難な方の場合家族の希望や本人の表情、様子等から把握し希望に添っていけるよう努めている。		
			(外部評価)		
34			(自己評価) これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている		
			(外部評価)		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 一人一人のできること(排泄、睡眠、生活習慣等)の全体像を日々のかかわりのなかで把握するよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 家族の希望や、一人一人の能力別に思いや希望を普段の生活の中からくみ取り、プランに生かすようにしている。		
			(外部評価)		
			センター方式の様式を採り入れ、職員で話し合い計画を作成しておられる。		ご家族や利用者に関わる人達の意見やアイデアをさらに採り入れた計画の作成についても取り組みを充実していけることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 設定した期間にとらわれず、個々人の生活、身体・精神状態の変化にあわせて見直しを行っている。細かいことはプランに載せず口頭の申し送りで行うようにしているが全職員に周知できていない場合もある。 (外部評価) 計画書は、6か月ごとの見直しとなっている。体調の変化や食事が食べにくくなったような場合には、随時の見直しを行っている。		細かい部分までプランにあげて、職員全員が共有するプランに沿ってケアが実行できるよう取り組む
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) ケース記録に一人一人の状態（食事、水分、排泄等）や会話等、生活状態が分かるように時間を追って記録している。いつでも全ての職員が確認、記入ができるよう共有し実践している。		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 共用型デイサービスを含め、延長サービス、外出、送迎、通院等必要に応じ本人・家族の状況や要望を軸に臨機応変に対応している。 (外部評価) 他施設におられる友人の訪問やひ孫さんの顔を見に行く等、個別で柔軟な支援に努めておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域ケア会議、運営推進会議等で協力をお願いし普段から連携を取っている。また保育園や学校と行事への参加や職場体験の受入等を行い、地域で安心して暮らしていけるよう支援している。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 他事業所の文化祭に見学に行かせてもらったり、同法人内にあるデイサービスに遊びに行ったりさせてもらっている。		今後もっと積極的に色々なサービスの利用を本人・家族と相談しながら支援していきたい。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に地域包括支援センター職員の出席もあり日常的に相談や助言等受け、情報交換、協力関係が築けている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人や家族の希望するかかりつけ医に月1回往診してもらっている。体調不良時は随時往診してもらったり職員が同行し診察を受け病状を把握、適切な医療が受けられるよう支援している。		
			(外部評価) かかりつけ医の往診の他、町内に所在しない眼科等の受診は、町外で受診できるよう支援されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力医療機関として心療内科があり、ご家族と協力し必要に応じて通院介助を行ったり、電話で気軽に相談、助言を受けることもできる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 3月で看護職員が退職したので介護職員で体調管理や病状把握に努めているが、やはり介護職だけでは利用者・職員共に不安があり、訪問看護ステーションとの医療連携に向けて話し合いを進めているところである。		訪問看護ステーションとの連携を準備中。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時にはできるだけ短期間で退院できるよう主治医と話をする機会を多くもち、家族とも情報交換しながら、早期退院に向けて職員が頻繁に見舞うようにしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 入居後早期の段階で重度化に対するホ－ムの考え方、対応方針、医療との連携等十分に説明し意志確認書を作成している。又確認書にとらわれず、状況の変化に応じて話し合いを繰り返し、重度化や終末期に向けた支援をしている。 (外部評価) ご本人やご家族の希望を聞き取り、かかりつけ医やご家族とも連携を図り、重度化、終末期のケアに取り組まれている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 本人や家族の意向を踏まえ、医療関係者とホ－ム側が連携を取り、安心して納得した穏やかな最後が迎えられるよう、随時意志を確認しながら取り組んでいる。また終末期をどう迎えたいか家族にアンケートを取らせてもらっている。		現在は病院との連携でタ－ミナルケアを行っているが、訪問看護ステーションとの連携が取れるよう準備している。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 移り住む場合、ホ－ムでのご本人の情報をプライバシーに配慮しつつできるだけ多く情報提供しダメージを軽減するよう努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1.その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			カンファレンス時等折々に職員の意識向上を図ると共に、その時々に関わり方を代表者や管理者が利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応（特に人前でのトイレ誘導の声かけや入浴時の羞恥心に対する配慮等）の指導を行っている。		
			(外部評価)		
			代表者は方言の使い方等にも注意し、利用者に対して適切な言葉かけができるよう指導されている。職員は、一日利用者の立場で過ごし、職員の声掛けや対応について利用者の気持ちになって考え、ケアにつなげておられた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			一人一人の持てる力に合わせて衣類の選択、買い物時の選択、座る場所の選択等危険のない限りできるだけ自己決定してもらうよう支援している。		
			(外部評価)		
			基本的な一日の流れはあるが、一人一人のペースを尊重し、「早く」「待って」という言葉をできるだけ使わないよう心がけて利用者が自由に自分のペースを保ちながら暮らせるよう努めている。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			利用者からの希望は、即対応できるよう努めておられる。利用者が外出される際に職員が付き添っておられた。		
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 職員は見守りや支援が必要ときに手伝うようにしており、着替え等本人の意志で決めてもらっている。自己決定がしにくい利用者にはできる限り本人の意向を聞きながら支援をしている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 家庭菜園で育てた野菜を利用者と一緒に採りに行き、調理、盛り付け片づけなどを共にしている。そして同じテーブルにつき同じ物を食べ、楽しい雰囲気の食事ができている。		
			(外部評価) 菜園で採れたナスを利用者が七輪で焼いてくれたり、利用者もエプロンをされ職員と一緒に調理、配膳、後片付けを行っておられた。調査訪問時も穏やかな会話がはずむ楽しい食事時間となっていた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 現在お酒やたばこをたしなむ人はいないが、利用者が自宅と同様に嗜好品を楽しめるよう(甘い物など健康管理しながら)支援している。		
56		気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 利用者一人一人の排泄パターンを把握し、できる限りトイレで排泄できるよう声かけやトイレ誘導を行っている。また下着やパットを使い分けることにより本人の不快感の排除、自己負担である排泄用品の出費の軽減に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入浴回数、時間等個々人の希望に合わせて、職員が見守りや介助をして、ゆっくり入ってもらっている。夏場は寝る前にシャワーで汗を流す人もいる。		
			(外部評価)		
			毎日、入浴できるようお風呂を準備し、できるかぎり利用者の希望に合わせて支援しておられる。庭の草引きの後に入浴をすすめる等、ご自分の意思で入浴していただけるよう声掛けをされている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			散歩や買い物など日常の活動を通して生活リズムを作り、安眠できるよう支援している。眠れない時には職員が添い寝をしたりしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			台所仕事、洗濯、布団干し、草花や野菜の世話、雪かきなど利用者一人一人が無理なく楽しんで行えるよう支援している。また、カラオケやバーベキュー、季節季節の習わしごとを利用者と一緒に行っている。観劇や好きな歌手のコンサートにも職員が同行し、楽しみや気晴らしの支援をしている。		
			(外部評価)		
			コンサートに行かれた利用者が当日の楽しかったことを皆にお話しされた。庭の草引きやお花の手入れ等を日常的にされ、職員が、連れて来る犬と遊んでおられる方もうかがえた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			利用者一人一人の能力に応じ支援している。できる人にはお小遣いを自分で管理してもらい、買い物も職員と一緒に自由に行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			毎日の買い物には必ず利用者と行くようにしており、回覧板を回したり、地域の行事などにも積極的に参加している。		
			(外部評価)		
			地区の運動会、保育園のお茶会、近所のドライブや散歩等、利用者の希望に沿って日常的に外出を楽しんでいる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			以前住んでいたところの敬老会や墓参り、時には旧友を訪ねたり本人の行きたいところへ出かけられる支援をしている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			手紙や電話のやりとり等、希望に応じて支援している。電話は子機を使用してもらい離れたところでも話ができるようにしている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			家族や関係者がいつでも気軽に来やすい雰囲気作りを心がけている。訪問時間などは定めていない。また、家族の方にも自由に泊まらせていただいている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 人権侵害に当たることを職員が認識しており、拘束のないケアを実践している。ベッドで危険な利用者には床に布団を敷いて寝てもらっている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中玄関に鍵をかけることはなく、冬季以外は玄関ドアは開かれている。利用者が外出の時は、止めるのではなくできる限り同行し、安全に自由に暮らしてもらえるよう支援している。 (外部評価) 玄関だけでなく居間や廊下等からもいつでも庭に出ることができるようになっている。利用者は、自由に出入りをされていた。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者の様子が把握できる位置関係を職員が気をつけ動いている。玄関にはチャイムを取り付け、出入りが分かるようにしている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 利用者のそばで見守りながら記録を行ったり、薬や洗剤など注意の必要な物については利用者の目に触れない場所に保管管理し危険を防ぐよう努めている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故報告書を作成し、必要なケ - スは町への報告を行っている。原因究明と再発防止に向け話し合いをしている。		リスク管理を徹底し事故ゼロに向けて取り組みたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) マニュアルを作成し、周知徹底を図っている。消防署の協力を得て、年に1度、救命救急の勉強会(実技を含む)実施している。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防署の協力を得て、避難訓練、消化器の使い方等の訓練を年1回行っている。自治会にはホ-ムの見取り図と利用者の身体状況(歩行困難等)をプライバシーに配慮しながら情報提供し、いざというとき1番に駆けつけてもらえるようお願いしている。 (外部評価) 運営推進会議に出席いただいた方に、いざという時、協力をいただけるよう働きかけておられる。今後は、夜間の職員2名体制も検討することも考えておられた。		継続的な訓練を行い、地域の人と協力し合って安全を守っていくよう取り組む。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 様々なリスクの説明と、グル-プホ-ムとしての抑圧感のない生活の維持に向けた取り組みや方針を理解していただき、できるだけ本人の自由な生活を損なわないよう努めている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 職員は普段の状態をしっかりと把握し、些細な変化を見逃さないよう異常の早期発見に努めている。変化に気づけばすぐ管理者に報告、早期対応に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価) 利用者一人一人の処方箋をシートにし、使用している薬を把握し正しく服用できているか確認している。症状の変化時等は協力医療機関に連絡して指示を受けている。</p>		
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 繊維質の多い食材での調理や散歩、水分補給等いろいろ工夫し自然排便に向けて取り組んでいるが、時に頑固な便秘になり下剤の使用を余儀なくされる方がある。</p>		<p>食材・メニュー - や運動量等に尚工夫をこらし、自然排便できるよう取り組んでいく。</p>
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 毎食後の歯磨きの声かけを行い、利用者がチェック表の記入を楽しむまでになっている。能力的にできない方もその方の気持ちに配慮した声かけをしながらウエットペ - パ - で口腔内の清潔保持をさせてもらっている。</p>		
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 栄養が偏らないように高齢者食の本を参考にした調理を心がけており、食事や水分の摂取状況を毎日チェック表に記録している。特に不足しがちな水分の確保に努めているが、なかなか摂取してもらえず不足気味の方もおられる。又普通食の摂取ができない方には個別に軟らかく煮たりとろみをつけたり工夫しながら支援している。</p> <p>(外部評価) お茶だけでなく、乳酸菌飲料やゼリー等好きなもの等でも水分を摂ることができるよう努めておられる。</p>		<p>形態、種類等をもっと工夫して、必要な水分量が摂取できるよう取り組んでいる。</p> <p>事業所では、さらに利用者個々が必要な水分を摂取できるよう取組みたいと考えておられる。利用者一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援ができるよう取組みを今後も工夫していかれることが期待される。</p>
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>(自己評価) 感染症マニュアルを作成している。職員のうちがいや手洗いについてはチェック表を作り職員全員で実行するよう取り組んでいる。体調不良の職員には休むよう指示し早めの受診を勧めている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>まな板や布巾等は漂白や太陽熱乾燥を心がけ、調理器具、冷蔵庫、台所水回りの清潔、衛生に気をつけている。また自家菜園で無農薬の新鮮で安全な食材を用いている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>民家改修型ホムで、玄関は冬以外いつも開けており内部の雰囲気がよく分かり、気軽に入りやすいようにしている。玄関周りには季節の草花がいつも咲き、椅子が用意され家庭的で親しみやすく家族にも喜ばれている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>居間は和室で掘りコタツがあり一般家庭と変わらない設えになっているので利用者も来訪者もリラックスできていると思う。振り子の柱時計や、職員手作りの物が飾られており暖かく親しみやすい家庭的な雰囲気があると思う。</p> <p>(外部評価)</p> <p>季節の草花や植物のインテリア等、事業所の各所に飾られ利用者が気持ちよく過ごせるように職員の気配りがうかがえた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>それぞれが思い思いの場所で過ごせるように、ソファや椅子、掘コタツがあり、また裏庭に面した濡れ縁でひなたぼっこやおしゃべりを楽しんでいる。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)			
			タンスやコタツ、テレビ等本人の使い慣れた物を持ち込んでもらうようにしている。ご家族の写真や誕生日の色紙、花等好みの物が飾られており安心して過ごせる場所になっている。			
			(外部評価)			
			居室には、ご家族の写真や使い慣れた家具が持ち込まれている。部屋の広さ等もそれぞれに違いがあり、居室の窓を出て、個々が洗濯物を干せるようになっていた。			
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)			
			戸や窓はできるだけ開放し換気や臭気に気をつけているが、玄関横にトイレがあり排泄に問題のある方も多く梅雨時などにおいが気になるときもある。		トイレの見回り回数を多くし、臭気対策を講じている。	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり						
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)			
			要所に手すりを設置し、洗濯物や布団も自分で干せるよう物干しの高さを調節し安全で使いやすく自立した生活が送れるよう配慮している。			
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)			
			各居室にはわかりやすい表札があり、入り口には好みののれんが掛けてある。トイレにも目印があり家庭的な雰囲気を壊さず、場所違い、混乱等を防ぐ工夫をしている。			
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)			
			広い庭があり、利用者はそれぞれにゲ - トボ - ルをしたり、草引きをしたり、濡れ縁でおしゃべりしたりできる空間になっている。			

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ②利用者2/3くらいの 3利用者1/3くらいの 4ほとんど掴んでいない	日々の関わりの中で、本人の希望を聞いて(どういう生活がしたいか、どこへ行きたいか、誰に会いたいかなど)把握している。意思疎通が困難な方は表情等で推し量ったりご家族の意向を聞いている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2数日に1回程度ある 3たまにある 4ほとんどない	日常的に利用者と職員がゆっくりと一緒にお茶を飲んだり、おしゃべりをしたり、テレビを見たり穏やかにゆったりした時間をおくっている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2利用者2/3くらいが 3利用者1/3くらいが 4ほとんどいない	1日のおおまかな流れはあるが、起きる時間も寝る時も個々に皆違っており食事、入浴等も時間に縛られず、一人一人の希望やペースに合わせて生活してもらっている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者2/3くらいが 3利用者1/3くらいが 4ほとんどいない	意思疎通が困難な方が一人おられるが、他の方は毎日のお茶や食事の時間には職員も一緒に多くの会話を持つように努め、調理や洗濯干し、掃除、買い物等本人の能力に応じて行ってもらうことにより、生き生きとした表情や姿が見られる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2利用者2/3くらいが 3利用者1/3くらいが 4ほとんどいない	日常的に外出しており、本人の意向、希望(観劇、コンサート、ショッピング、親戚や友人訪問、外食等)をできる限りかなえられるよう支援している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2利用者2/3くらいが 3利用者1/3くらいが 4ほとんどいない	職員が利用者の状態を常に把握しており、医療機関へも電話で気軽に相談ができ、状態変化時にはかかりつけ医の受診や往診を受けることができる。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2利用者2/3くらいが 3利用者1/3くらいが 4ほとんどいない	本人の希望、要望を第一に定期外の受診や急な外出、外泊等に対して柔軟に対応し、安心して暮らしてもらっている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2家族2/3くらいと 3家族1/3くらいと 4ほとんどできていない	入居料支払い時にご家族の希望や困っていること、不安なこと等時間を取って話しを聴くようにしている。いろいろな悩み事など相談してくれる家族が多く、信頼関係ができていると思う。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに 1ほぼ毎日のように 2数日に1回程度 4ほとんどない	頻繁に関係者が来てくれる人や月1回程度の人もあり人によって訪問者数に差がある。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) ② 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	行事の度に声かけしてもなかなか来てもらえなかった方々も、運営推進会議によって初めてホ-ムに足を踏み入れて下さり、実際を見ることによって理解して頂けるようになった。「認知症になっても地域にホ-ムがあると安心できる」と言ってくださるまでになり理解者や応援者が少しずつ増えている。
98 職員は、生き生きと働いている	(自己評価) ① 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員の声が明るく常に笑顔がみられ、意欲的である。利用者との関わりも積極的で、利用者との一日一日を職員自身が楽しもうとする姿がみられる。
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者はその時々気分や状況で正反対のことを言う事があるが、日々の会話(死ぬまで置いてな等)や表情で満足度はおおむね把握できていると思う。
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ① 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	ほぼ全ての家族が家族より良くしてくれると感謝の言葉をかけてくださるのでおおむね満足して下さっていると思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

当ホームは四季折々の自然豊かな山々に囲まれた久万高原町の高台に位置する民家改修型のグル-プホ-ムです。
「自由権の尊重」を基本理念に置き、入居者の意志、行動に対して、危険性がない限り干渉せず、自立と本人の望む生活を支援することに力を入れて取り組んでいます。
家庭菜園のある広い庭でのミニゴルフ、日だまりの縁側で友人とのおしゃべり、笛が滝公園の散策等、認知症になっても住み慣れた地域の中で、支え合う職員と共に自由に楽しく自分らしく暮らしています。